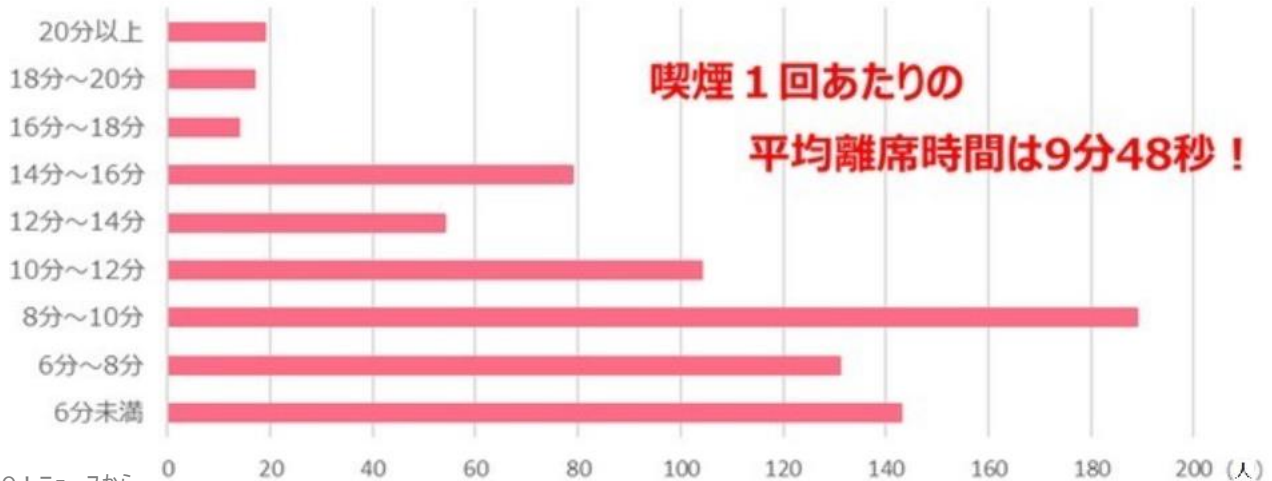


週刊 タバコの正体

タバコの有害性が広く知られようになった現代では、他人がいる場所で喫煙するのはかなり非常識な行為です。ましてや職場や作業場での喫煙は論外とさえ言える時代なので、仕事中の喫煙は席を離れ喫煙場所へ行かなければならないのが当たり前です。

喫煙時に席を立ってから業務に戻るまでの離席時間



YAHOO! ニュースから



マイナビウーマンサイトから

そこで、グラフを見て下さい。ある調査会社が行った、都心のオフィスに勤める喫煙者750人にアンケートを取った結果です。それによると1回の喫煙で平均約10分間席を離れているのがわかります。

左のイラストは、そんな喫煙者が席を離れている間の様子を描いたものですが、喫煙者だけが“タバコ休憩”を取っているのは不公平なのは、と感じませんか。

国立がん研究センターの発表による2019年の成人喫煙率は男女合わせて16.7%です。つまり大人10人のうち喫煙者は1, 2名しかいない現代では、イラストのような状況を不公平とみる風潮は大きくなっていくでしょう。

こんな風潮がある事を意識すると、業務中の従業員を横目でみながら、喫煙室でタバコを吸うのはかなり気が引けるのではないのでしょうか。「そんな思いは、したくないなあ」と思いますよね。

産業デザイン科 奥田恭久